

## 平成27年度 第3回教育研究評議会議事録

日時 平成27年5月20日（水）14：30～16：20  
場所 事務局大会議室、附属図書館浜松分館・学生支援棟3階会議室  
出席者 伊東幸、石井、木村、東郷、前田、柳澤、丹沢、伊東暁、澤渡、鈴木、今野、寺村、菅野、谷、酒井、藤井、塩尻、加藤、佐古、糠谷、鳥山、渡邊、中村、朴、澤田の各評議員  
欠席者 中山委員（代理：川田工学部副学部長）、三村委員  
陪席者 鈴木、櫻本の各監事  
阿部、青木、浅利の各学長補佐

### I 議事録の承認について

平成27年度第2回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 独立行政法人通則法の一部を改正する法律の施行に伴う関連する規則等の一部を改正する規則の制定について

議長から、独立行政法人通則法の一部を改正する法律の施行に伴う関連する規則等の一部を改正する規則の制定について提案があり、前田委員から資料1により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 2 静岡大学教員免許状更新講習企画委員会規則及び静岡大学教員免許状更新講習実施委員会規則の一部改正について

議長から、教職センターの設置に伴う静岡大学教員免許状更新講習企画委員会規則及び静岡大学教員免許状更新講習実施委員会規則の一部改正について提案があり、石井委員から資料2により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 3 静岡大学評価規則の一部改正について

議長から、評価会議の委員構成の変更に伴う静岡大学評価規則の一部改正について提案があり、東郷委員から、資料3により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 4 静岡大学地域法実務研究センター（仮称）設置準備委員会設置要項の一部改正について

議長から、静岡大学地域法実務研究センター（仮称）設置準備委員会の名称変更及び検討体制の強化のための静岡大学地域法実務研究センター（仮称）設置準備委員会設置要項の一部改正について提案があり、石井委員から、資料4により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

## 5 平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

議長から、平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書の素案について提示があり、東郷委員から、全体構成等について資料5により説明があった。

なお、同委員から、本件については、部局へ持ち帰っていただき、次回本会議で再度審議したい旨の説明があり、本会議終了後に本案を文書で通知し、意見等があれば、6月3日までに提出願いたい旨の依頼があった。

## Ⅲ 報告事項

### 1 企画戦略会議報告

議長から、平成27年度第2回企画戦略会議（H27.5.7開催）について、資料6により報告があった。

### 2 教育学部のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーについて

石井委員から、平成28年度の教育学部新課程の廃止に伴い、「入学者選抜に関する要項」や「学部募集案内」に掲載する教育学部のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーについて資料7により報告があり、本件については、要項等に掲載するための暫定的な修正であるため、今回は報告事項とさせていただき、平成28年度の他学部の改組及び新たに設置する地域創造学環のアドミッション・ポリシー等についても必要な見直し及び策定の上、教育学部を含めて、改めて本会議で審議する予定である旨の説明があった。

なお、同委員から、他学部等においても暫定的な修正が必要な場合には、次回本会議で報告することも可能な旨の補足説明があった。

### 3 平成26年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について

東郷委員から、平成26年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について資料8により報告があり、本年9月の本会議に中間報告を行いたい旨の説明があった。

### 4 静岡大学における東日本大震災による被災大学の学生等に係る教育研究上の支援の特別措置に関する規則の廃止について

前田委員から、規則の有効期限の超過に伴う静岡大学における東日本大震災による被災大学の学生等に係る教育研究上の支援の特別措置に関する規則の廃止について、資料9により報告があった。

なお、議長から、制定後の本規則の適用については、実績はなかった旨の補足説明があった。

## 5 国立大学法人静岡大学教員の審査手続について

前田委員から、国立大学法人静岡大学教員の就業に関する規程第5条第2項及び第7条第2項で「別に定める」と規定されている大学教員の配置転換等及び解雇等に関する手続について、資料10のとおり定める予定である旨の報告があり、本会議後、役員会において決定した後、改めて部局に通知したい旨の説明があった。

## 6 平成26年度の静岡大学における教育組織の見直しとガバナンス改革への対応について

前田委員から、平成26年度の静岡大学における教育組織の見直しとガバナンス改革への対応について、資料11により報告があり、同資料については、教職員専用のホームページに掲載する予定であるため、部局における周知に活用願いたい旨の説明があった。

なお、渡邊委員から、教員所属組織（学術院）の説明資料において、創造科学技術大学院が網羅されていないと想定される内容となっているとの意見があり、資料を修正することとした。

## 7 第3期中期目標・中期計画の素案について

東郷委員から、5月8日の文部科学省との事前相談及び寄せられたパブリックコメントを踏まえた第三期中期目標・中期計画の素案について、資料12により報告があった後、意見交換を行った。

なお、寺村委員から、「アジア研究」については、現状第三期の重点研究分野ではないものの、十分な実績もあり、計画番号29の措置事項としても記載されていることから、計画番号28に同研究を記載することへの提案があり、東郷委員から、研究部会において検討願いたい旨の依頼があった。

### <意見交換で確認した事項>

- ・文部科学省との事前相談においては、数値目標の記載については想定していたほど強く要求されなかったが、計画を的確に評価できる指標の記載を強く要求された。
- ・アジアブリッジプログラムについては、入学志願者数が芳しくない状況ではあるが、国立大学改革強化推進補助金事業に採択されていることから、平成26事業年度業務実績報告書において、本学の戦略的・意欲的な計画として位置付けている。同事業の評価については、結果は当然ながら、そのプロセスについても評価されることが想定されるため、学内資源を投入していくことも視野に、同事業の特別経費への組替えを目指したい。

## 8 創造科学技術大学院の運営体制について

議長から、平成27年度における創造科学技術大学院の運営体制について、資料13により報告があった。

なお、議長から、本件については、本年度から新たに導入した全学人事管理体制の中で取り扱うべきものだが、平成27年度の当該大学院の体制を昨年度中に決定しておく必要があったため、従前のルールに則り、役員会において審議及び決定し、本会議に報告することとした旨、また、今後については、全学人事管理委員会で取り扱うこととしたい旨の説明があった。

## 9 平成27年度春の叙勲について

議長から、平成27年度春の叙勲受章者について、資料14により報告があった。

## 10 平成27年度「静大フェスタ」について

柳澤委員から、静大フェスタの概要について、資料15により報告があり、谷キャンパスフェスタ in 静岡実行委員長及び川田テクノフェスタ in 浜松実行委員長の両名から協力依頼があった後、意見交換を行った。

<意見交換で確認した事項>

- ・同フェスタには、多数の来場者が見込まれることから、各学部等においても、ホームカミングデー等の活用や学部同窓会と連携する等、十分なアピールを行っていただきたい。ホームカミングデーのキャンパス単位での実施等については、今後、検討していきたい。
- ・例年のことだが、フェスタと静大祭とで双方の情報が共有されておらず、来訪者への案内に支障をきたしているため、双方でしっかりと情報を共有する必要がある。

## 11 平成27年度科学研究費補助金採択件数及び配分額について

木村委員から、平成27年度の科学研究費補助金の採択件数及び配分額(暫定)について、資料16により報告があった後、意見交換を行った。

<意見交換で確認した事項>

- ・配分額については、昨年度より8.5%増加したが、主要種目である「基盤研究A」及び「基盤研究B」の新規採択件数が減少しているため、来年度に向けての課題としてしっかり取り組んでいきたい。
- ・科研費全体の予算としては、昨年度とほぼ同様である。
- ・「若手研究B」の新規申請件数が大きく減少している。今後、分析することとしたい。

## 12 チェンマイ大学(タイ王国)との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、第2回本会議で承認されたチェンマイ大学との大学間交流協定の締結について、4月20日付けで締結された旨、資料17により報告があった。

### 1 3 平成28年度学士課程改革について

石井委員から、平成28年度学士課程改革に係る広報用資料について、資料18により報告があった。

なお、委員から、全学の学生収容定員の10名減の要因について質問があり、石井委員から経緯説明があった。

### 1 4 教員採用等報告について

議長から、総合科学技術研究科工学専攻1名の教員の採用について、資料19により報告があった。

## IV その他

### 1 人文社会科学部学士課程改革のための連続講演会について

今野委員から、5月22日に開催される「人文社会科学部学士課程改革のための連続講演会」について、資料20により案内があった。

- 加藤委員から、アジアブリッジプログラムにより雇用した教員の学部教育等への積極的な関与について依頼があり、併せて、塩尻委員から、教育研究に専念する時間の確保への配慮について依頼があった。なお、鈴木監事からは、各部局等においても会議等の効率的運用等による教育研究に専念する時間の確保について、一層の努力をお願いしたい旨の付言があった。
- 委員から、第3期中期目標期間における重点支援の枠組みのうち、本学は重点支援①を選択することを第2回企画戦略会議において決定したが、その具体的な目標やプロセスが何時提示されるのかとの質問があり、前田委員から、5月19日に文部科学省との概算要求に係る打合せを行ったことを踏まえ、6月3日の企画戦略会議に素案を提示したい旨の説明があった。
- 寺村委員から、地域創造学環に係る広報業務等における人員の配置や予算の配分について質問があり、前田委員から、大学改革推進等経費からの予算配分や常勤職員の配置について、検討したい旨の説明があった。

以 上